

自主防災活動を始めませんか？



地震などの大規模な災害が発生すると、市内各所でけが人が出たり、家屋の倒壊や火災などが同時に発生し、市役所や消防署の対応に限界が生じ、みなさんの地域へすぐに駆け付けることが困難となります。

被害の軽減を図るためには、「自助（自分の身は自分で守る）」、「共助（地域での助け合い）」が大切になります。

地域の防災力を高めるため、「まちは自分で守る」の意識を持って、自主防災活動を始めませんか？

自主防災活動についてのお問い合わせ先

長久手市 暮らし文化部 安心安全課 防災消防係

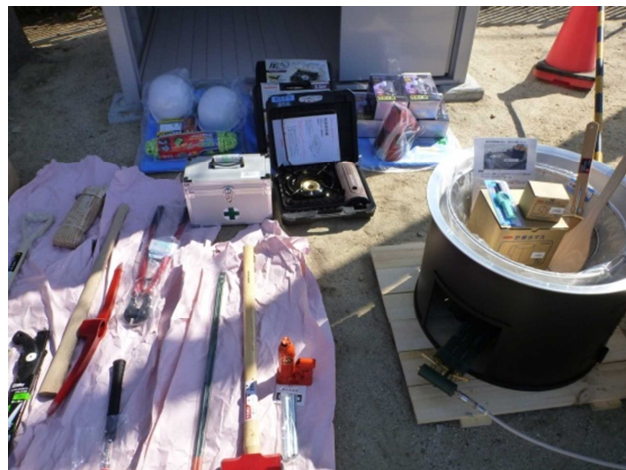
電話 0561-56-0611（直通）

1 自主防災倉庫の設置事例

自主防災活動に取り組んでいただいた自治会（自主防災会）で、一定の条件を満たした場合、市で自主防災倉庫を設置するほか、災害時に必要な資機材を貸与します。



設置する倉庫の例



貸与資機材の例

2 自主防災倉庫設置及び資機材貸与の条件

- (1) 自治会単位での防災講習会や防災訓練を、年間3回以上行っていること。
- (2) 自治会単位での防災講習会や防災訓練への参加者が、30名以上または世帯数の概ね3分の1以上であること。
- (3) 倉庫設置場所の土地所有者及び管理者から承諾が得られること。
※ 設置場所がすぐに決まらない場合は、安心安全課にご相談ください。
- (4) 自治会(自主防災会)で、倉庫及び貸与資機材の維持・管理を行うことができること。
- (5) 倉庫設置後も、自主防災活動を継続的に進められること。



3 自主防災講習会の開催方法

- (1) まずは安心安全課に御相談ください。
- (2) 次ページ「4 自主防災講習会の訓練項目と内容」を参考に、実施したい訓練項目や時期が決まりましたら、候補日を2～3日程度用意して、安心安全課まで御連絡ください。
- (3) 講習会の日程の予約は、3か月前から受け付けます。
(例：8月12日の開催希望であれば、5月12日から受け付けます。)
- (4) 講習会の内容によって、講師となる防災ボランティア団体等との日程調整が必要となりますので、御希望の日時にそえない場合もあります。
- (5) 安心安全課との日程調整が終わり、訓練内容が決まりましたら、開催日の1か月前までに「令和6年度 自主防災講習会申込書」を必ず提出してください。
この申込書の提出が正式申請となります。
申込書様式は長久手市ホームページからもダウンロードすることができます。
(https://www.city.nagakute.lg.jp/kurashi_tetsuzuki/anzen_anshin/bousai/jishubo/11556.html)

Q & A

Q 1 自主防災活動を始めたいけど、何から始めればいいのか分からない。

A 1 まずは安心安全課まで御相談ください。一緒に力を合わせて取り組みましょう。

Q 2 参加者が30人集まるかどうか分からないけど、講習会を行ってもらえるの？

A 2 自主防災倉庫を設置することだけが目的ではありません。1人でも多くの方にご参加いただきたいのですが、まずは実施することが大切です。自主防災倉庫の設置条件からは外れますが、少人数でも開催できます。

Q 3 講習会は希望にそって開催してもらえるの？

A 3 できる限りみなさんの御希望にそって開催したいのですが、開催希望日が土日の午前中に集中することや、講師となる防災ボランティア団体等との日程調整が必要であるため、御希望にそえないこともありますので、御了承ください。



4 自主防災講習会の訓練項目と内容

※ 複数の訓練項目を組合せ、1 時間 30 分～2 時間となるよう申し込んでください。

訓練項目		時間	場所	主な講師	訓練の内容
防災 DVD の上映		30 分	室内	N 防ネット	熊本地震や南海トラフ地震に関する DVD を鑑賞し、災害への備えについて学ぶ
講話	地震の基礎知識と対策	30 分～1 時間	室内	N 防ネット	南海トラフ地震を始めとした地震への備えについて学ぶ
	避難の考え方	30 分	室内	N 防ネット	災害時の避難の考え方について学ぶ
	東日本大震災での救助活動体験談	30 分～1 時間	室内	安心安全課	東日本大震災の救助活動に従事した職員の活動体験を聞き、防災に対する備えを学ぶ
	家具転倒防止	1 時間 30 分～2 時間	室内	N 防ネット	家具の転倒防止について学ぶ
	災害時のトイレ特化対策	2 時間	室内	安心安全課	災害時の課題の 1 つとされているトイレ使用について、使用方法や各家庭での備蓄計画を学ぶ
ワーク ショップ	避難所運営ゲーム (HUG : ハグ)	1 時間～1 時間半	室内	防災ボランティアコーディネーター	災害時に避難所を運営することを想定した、ゲーム感覚のシミュレーション訓練
	災害図上訓練 (DIG : ディグ)	1 時間～1 時間半	室内	防災ボランティアコーディネーター	グループに分かれ、長久手市の地理的状況や公共施設、避難所の位置を地図に記し、地域特性や問題点などを知る
	長久手市版クロスロード	1 時間～1 時間半	室内	安心安全課	災害時又は日常的に想定される場面に対して、Yes/No カードを使って行動の検討を行う
	いえまですごろく	1 時間～1 時間半	室内	安心安全課	災害時に知っておくべき知識を、すごろくをしながら楽しく学ぶ

訓練項目		時間	場所	主な講師	訓練の内容
実践型	ハザードマップウォーキング	1時間～2時間	屋外	安心安全課	ハザードマップ上で災害時の避難場所を確認しながら、地域の危険箇所を確認
	地域安否確認訓練	1時間～2時間	室内及び屋外	安心安全課	災害時の安否札の掲出・集計の仕方や周知の仕方の検討・定着を目的とした訓練
	備蓄食料品の試食体験	1時間～1時間半	室内	安心安全課	災害時用の備蓄食料品を実際に調理・試食 ※備蓄関係の講話も併せて開催 (炊き出しの同時開催も可能)
	地域防災倉庫内の資機材を利用した取り扱い訓練	1時間～1時間半	屋外	安心安全課	各自治会に貸与している防災倉庫内の資機材点検を兼ねて、資機材の組み立て等の実施